

# 経済日誌 (2.1~2.28)

## 国内外

### 2.2◇緊急事態宣言、1か月延長

政府は、新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言について、発令中の11都府県のうち栃木県を除く10都府県は3月7日まで1か月延長すると表明した。午後8時までの飲食店への時短営業の要請や観光需要喚起策「Go Toトラベル」と新規入国の停止なども継続する。

### 2.8◇ソフトバンクG、4~12月期純利益3兆円

ソフトバンクグループは、2020年4~12月期連結決算の純利益が前年同期の約6.4倍、同期間としては過去最高となる3兆551億円と発表した。世界的な株価上昇を追い風に、米携帯電話大手TモバイルUSの株式売却などで多額の投資利益が出たほか、投資ファンドの運用成績が改善した。

### 2.14◇ファイザー製コロナワクチン承認

厚生労働省は、米製薬大手ファイザーの新型コロナウイルスワクチンの製造販売を特例承認した。コロナワクチンの承認は国内で初めて。海外で4万人以上が参加した治験では95%の有効性が確認され、国内の治験でも有効性と安全性を確認している。17日から医療従事者への接種を開始した。

### 2.22◇出生数最少、87万人

厚生労働省が発表した人口動態統計速報では、2020年の出生数は前年比2.9%減の87万2,683人と5年連続で過去最少となった。婚姻数は12.7%減の53万7,583組で、減少率は1950年以来70年ぶりの大きさ。新型コロナウイルス感染拡大で婚姻の先延ばしも要因になったとみられる。

## 県内

### 2.1◇秋田大病院、「総合診療医養成拠点」開設

秋田大学は、同大医学部付属病院に、幅広い領域の病気を診る総合診療医を養成する拠点「総合診療医センター」を開所した。今後、東北の日本海側に県境を越えた研修施設のネットワークを構築し、高齢化や医師不足に対応した地域医療体制の充実をはかる。

### 2.15◇県、コロナ関連予算案を追加計上

県は、新型コロナウイルスに関連した予算案の追加提案分を発表した。2020年度2月補正予算案は451億円、21年度補正予算案は127億円を計上する。国の20年度第3次補正予算の成立を受けて追加編成したもので、「医療体制の整備」と「感染拡大防止策」に重点を置いた。

### 2.18◇季節ハタハタ6割減

県は、沿岸季節ハタハタ漁の2020年漁獲量が191トンにとどまり、前年より60.1%減少したと発表した。禁漁を解いた1995年以降で3番目に少なく、ハタハタ資源対策協議会が定めた漁獲枠(325トン)の58.8%にとどまり、同割合も3番目の低さとなった。

### 2.22◇除雪費、過去最高の74億円

県は、記録的な豪雪から今冬の道路除雪費がこれまで最高だった17年度の61億5,800万円を上回る74億4,400万円になると発表した。当初予算で49億4,400万円を計上したが、20年度2月補正予算案で20億円を追加し、今般の追加提案分でさらに5億円を計上した。